

野生動物とドライバーの安全を守る

動物侵入対策型立入防止柵



「動物の侵入パターンに対応する機能を持ち、
施工性、安全性、耐久性に優れた動物侵入対策フェンスです。」

安全性の確保と 動物愛護

高速道路への野生動物の侵入による事故の多発をうけ、
道路の安全性の確保と動物愛護を実現するために開発された
フェンスです。

動物侵入対策型 立入防止柵を 利用するメリット

- 動物の行動特性を把握し、それに応じた対策を講じてあるため、
本製品の設置で跳躍・掘削・登はんなどによる侵入を防止できます。
- 動物による破損の防止はもちろん、耐食性に優れた素材を使用し
ているため、メンテナンスの手間を軽減します。

明日へ繋ぐ、未来に繋ぐ

中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社

概要

高速道路上の安全確保と野生動物の保護を同時に実現します！

この動物侵入防止に特化したフェンスは、高速道路におけるドライバーの安全確保だけでなく、自然環境に配慮した道路づくりにつなげ、野生動物との共存を推進します。また、高速道路だけでなく、お客様の管理する道路においても安心・安全な道路づくりにご活用いただけます。

特長

性能

跳躍侵入を防ぐため全高2.5mを実現！

- シカなどの大型動物は、フェンスを飛び越えて道路に侵入することがあります。この跳躍侵入を防ぐため、全高は2.5mとしました。また、高さ1.5m以上の部分には、溶接金網構造の縦15cm×横15cmの格子網を採用しています。

登はんを防ぐため格子構造を採用

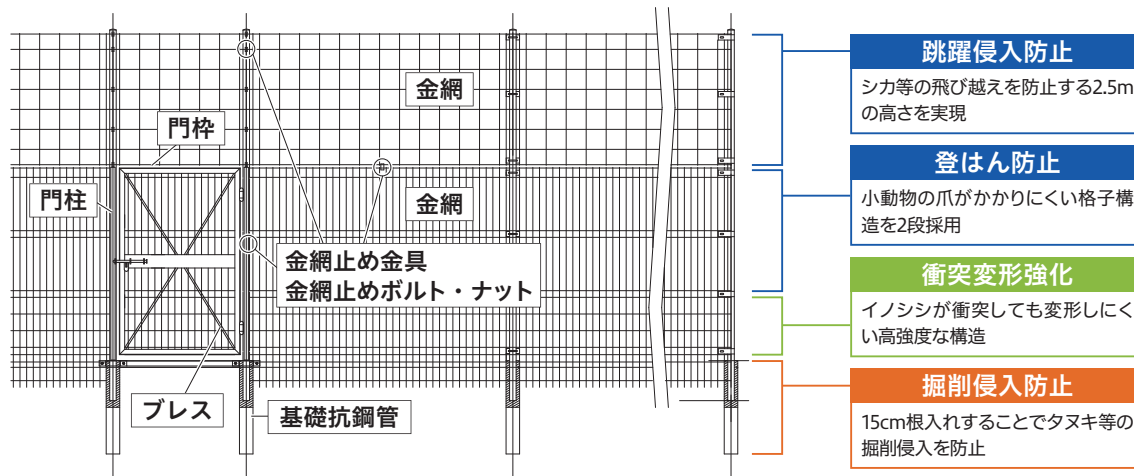
- 小型動物の登はんによる侵入を防ぐため、フェンス最上部は動物の爪のかかりにくい縦40cmの格子構造を2段採用しています。
また、イノシシなどの鼻先・頭部がフェンスに入らないように、フェンス下部は縦12.5cm横5cmの格子構造とし、横方向の強度を高めた構造としています。

掘削侵入を防ぐためフェンスを根入れ

- 従来の金網タイプの立入防止フェンスには、フェンスと地面の間に隙間があり、タヌキなどの小型動物は、この隙間を利用して、地面を掘削しながら侵入します。この掘削侵入を防ぐため、当社のフェンスは地中に15cm根入れして設置します。

耐食性に優れた素材でメンテナンスの手間を軽減！

- 支柱と基礎くいには、日本製鉄株式会社の高耐食性溶融めっき鋼板ZAM®を使用しています。
従来の溶融亜鉛めっき鋼板に比べ、耐食性が優れています。そのため、メンテナンスの手間が軽減されます。



仕様

規格

- 【支柱間隔】2m(非積雪地)・1.5m(積雪地)
- 【上部金網】H=1.0m(@150mm)
- 【下部金網】H=1.5m(横@50mm)

外装

- 【溶接金網】溶融亜鉛めっき
- 【支柱】高耐食性溶融めっき

(問合せ先)

中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社

名古屋市中区錦1-8-11 DPスクエア錦9F 〒460-0003
TEL:052-212-4551(代表)052-212-4597(営業部直通)

中日本エンジ名古屋 検索 FAX:052-203-5106

<https://www.c-nexco-hen.jp/> mail:info.yy@c-nexco-hen.jp

